

北極海の航行実態

衛星運用日：2014年7月5-11日、7月19-25日

北極海北東航路において、東経90°のカラ海付近や東経150°～170°の東シベリア海付近は海氷で覆われていました。タンカー等が赤破線内を航行するために砕氷船のエスコートを受けている状況が確認できました。また、衛星が捉えた海氷中における航行速度の平均値は約4.5ノットであり、通常の海域における航行速度よりも低下していることを確認しました。

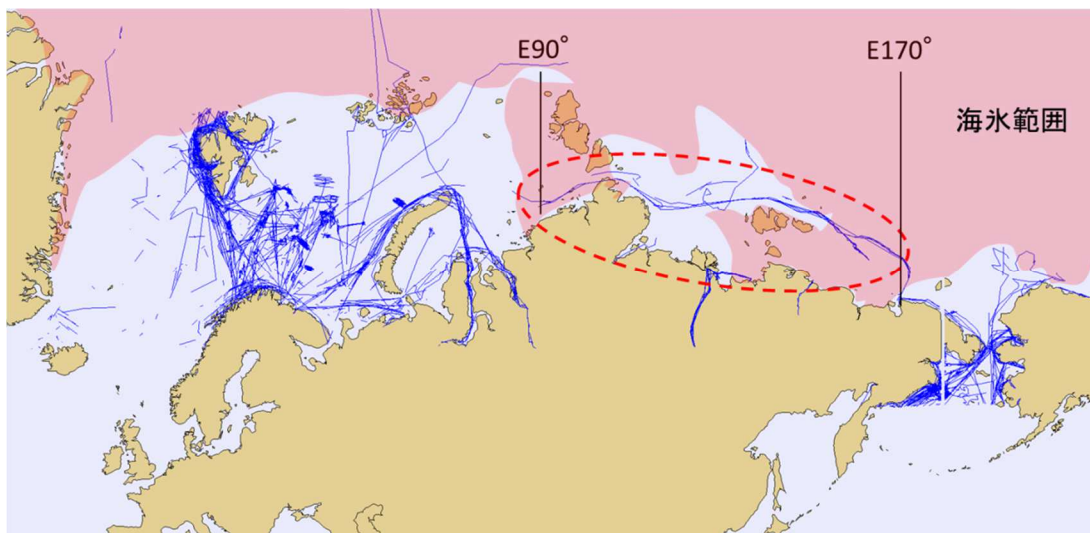


図1：航行実態の例

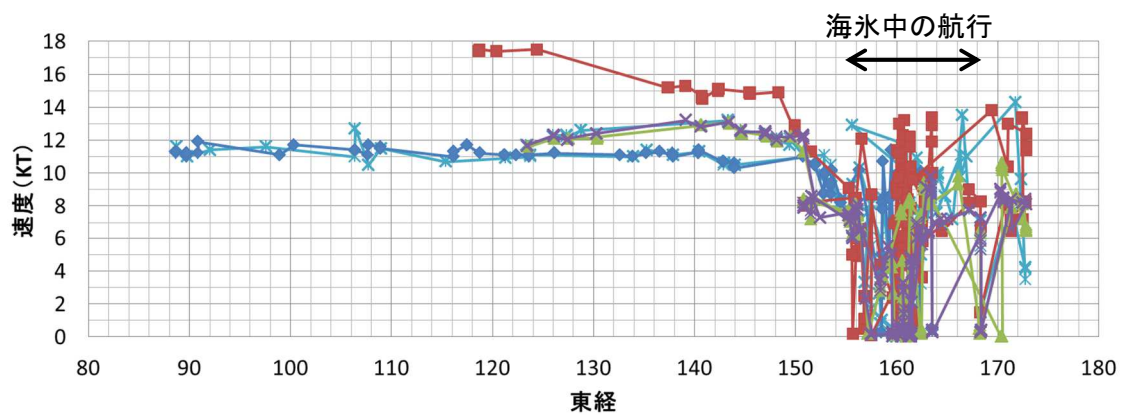


図2：北極海航路における航行速度の分布

図3は本年7月の海水の状態（海水密接度）と航行速度を重ねたものです。海水中は船速が落ちていることが確認できます。海水の状態と船速との関係についてはさらに今後分析を行う予定です。

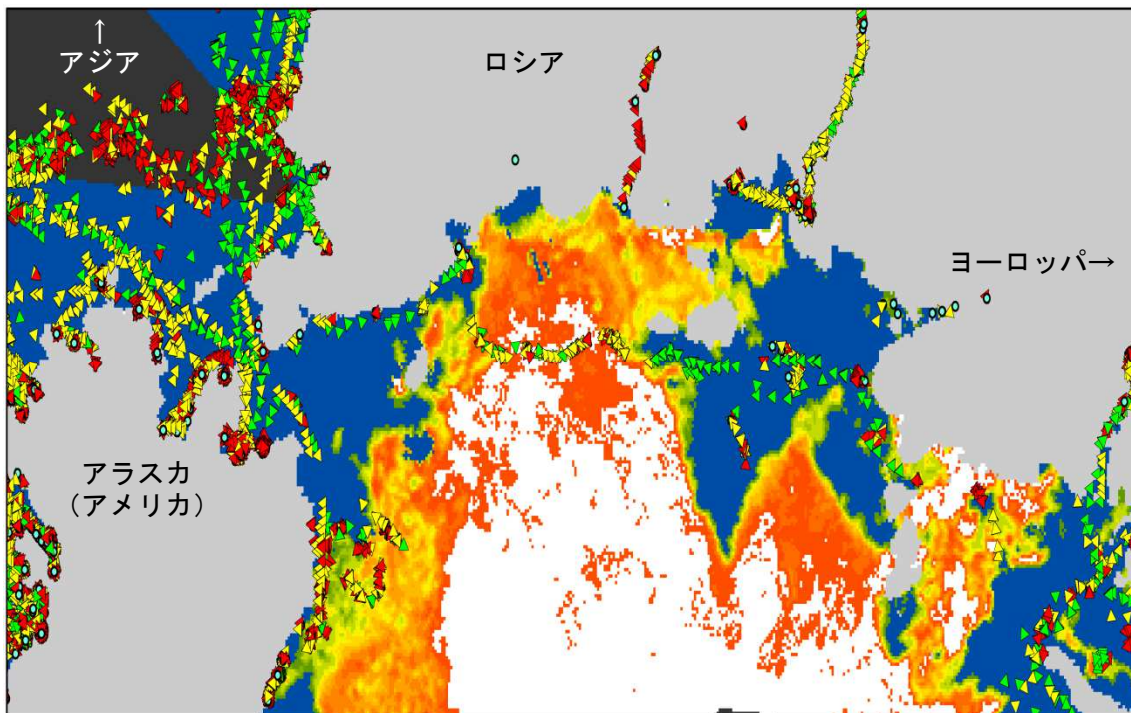


図3：海水と船速の関係（2014年7月19～25日）

注）船速（△）赤5ノット以下、黄色5-10ノット、緑10ノット以上
海水：白が最も海水密接度が高く橙→緑となるにつれ低くなる